

令和5年度（2023年度）公共事業再評価調書

（様式3）

		基準年月日		令和5年8月1日							
調書番号	06-03	所管部	農政部	作成責任者	農村振興局農地整備課長 榎 研一						
				担当係	水田整備係（内）27-568						
I 基本事項（基準日時点）											
事業種別	道営土地改良事業費（農地整備事業（経営体育成型））										
ふりがな 地区名	しんしのつきた 新篠津北	市町村名	新篠津村	総事業費	1,385 百万円						
負担割合	国	55.0%	道	32.5%	市町村	-	その他	12.5%			
	762 百万円		450 百万円		- 百万円		173 百万円				
事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●良質米の安定生産及び転作作物の生産性向上を図る。 ●農作業効率の向上及び水管理の合理化により労働時間の縮減を図る。 ●担い手への農地集積を図る。 ●事業実施により安全・安心な食の生産をささえる。 【アウトカム】等 <ul style="list-style-type: none"> ●事業実施前（H29年（2017年））の担い手農地集積率（受益面積に占める担い手が耕作する面積の割合）は93.3%だが、本事業を実施することにより事業完了翌年には100%と上昇が見込まれる。 										
事業概要	新篠津村の北部に位置する本地区は、水稻を中心に小麦や大豆等の転作物を作付けしており、生産性の高い農業基盤の確立を目指している。本事業では、80a程度を標準に大区画化し、併せて排水改良のために暗渠排水や排水路の改修など総合整備を行う。	工事費内訳	受益面積	129ha → 132ha	(百万円)	(百万円)	(百万円)				
			受益戸数	13戸	前回評価	今回評価	増減額				
			○用水路	1,772m → 4,192m	62	217	155				
			○排水路	6,277m → 6,413m	289	347	58				
			○区画整理	101ha (整地、暗渠排水、客土)	444	640	196				
			○測量試験費		185	164	△ 21				
			○用地補償費		10	17	7				
			計		990	1,385	395				
総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名						
		経済・産業	農林水産業の持続的な成長	潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり	農業農村整備の推進						
特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：第6期北海道農業・農村振興推進計画 P23】（生産基盤の強化）スマート農業技術や高収益作物の導入を容易とするほ場の大区画化や農地の排水対策など、農業の生産力と競争力の強化に向けた整備を推進する。									
	関連する指標	食料自給率（カロリーベース） 令和12年度（2030年度） 目標値：268%									
II 公共事業評価経過											
事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	事前評価又は当初	H30(2018)	H30(2018)	H37(2025)			990	322			
	前回再評価										
	今回評価			R5(2023)			R7(2025)	5	1,385	450	119
変更理由・内容(概要)	(1) 用水路不等沈下による事業量の追加による増額 (2) 暗渠排水整備のための排水路の追加による増額 (3) 仮設工の追加による増額 (4) 現地発生土利用不可に伴う購入土への変更による増額 (5) 既存資料活用による減額 (6) 自然増及び消費税率変更による増額										
III 事業採択前の状況											
1. 事業採択に至る経過と背景	本地区は、昭和50年代に行われたほ場整備事業と平成12年から平成16年にかけて経営体事業で用水路・排水路（既設利用）の二次整備及び暗渠排水工事を実施しているが、泥炭質土壌による不等沈下から暗渠排水の効果が低下しており、用排水施設においても改修を必要としている。このため、本事業の整備により地域農業の更なる活性化に向け、農地の流動化を促進させ規模拡大により、農家経営の安定を図るため、平成28年(2016年)に新篠津土地改良区から事業採択に向けた要望が出された。										
2. 事業検討の手續（住民ニーズの把握等）	<ul style="list-style-type: none"> ●H28年（2016年）4月 新篠津土地改良区から石狩振興局へ整備要望 ●H29年（2017年）4月 振興局で地域の整備要望を踏まえ調査を開始 ●H29年（2017年）11月 土地改良法に基づき事業申請 ●H30年（2018年）4月 事業採択 										
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	●新篠津村 受益面積129ha→132ha、受益戸数13戸										
4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容						

IV 事業の実施状況

(1) 事業実績及び今後の計画													
施工(工種)区分	工事内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			進捗状況	事業費(百万円)
用水路	L=4,192m		<		L=1,607m			>	L=2,585m			34%	217
排水路	L=6,413m		<		L=6,132m			>	L=281m			92%	347
区画整理	A=101ha		<		A=101ha			>	湧水処理等			97%	640
測量設計費	調査・設計	<		実施設計・施工管理				>	施工管理等			96%	164
用地費及補償費	用地買収・電柱移設	<		用地買収・電柱移設				>	電柱移設			88%	17
													0

(2) 進捗状況

●事業は概ね予定どおり進捗しており、今後の実施に当たっても特に大きな支障となるものはない。

b

a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。
c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考
	項目	R5 現在	項目	R5 現在	
	作物生産効果	1,786	農業用排水施設	782	・「土地改良事業の費用対効果分析マニュアル」(農林水産省R4改正)に基づき算出 ・効果は、「事業ありせば」「事業なかりせば」の比較による作物生産の増減、作物品質の向上、営農経費及び維持管理費の節減ほか、災害(洪水等)の発生に伴う農作物等の被害が防止又は軽減される効果、国産農産物の安定供給に対する「安心感」を貨幣換算により算出 ・経済効果の合計と費用の合計は、「工期+40年」の累計で算出しR5年度に現在価値化しているため事業費と異なる。 ・農業用排水施設と接続する上位用排水施設等にかかる費用を「関連施設」として計上している。
	品質向上効果	528	区画整理	844	
	営農経費節減効果	797	関連施設	1,094	
	維持管理費節減効果	7			
	災害防止効果	34			
	国産農産物安定供給効果	81			
	合計(B)	3,233	合計(C)	2,720	
	B/C	前回算定年度 : H29年度(2017年度)【事業採択】 前回算定時B/C: 1.38 (合計(B): 2,141 合計(C): 1,549)			
	R5 現在	変更理由: ・営農経費節減効果算定時の用水なかりせばシナリオの変更による総便益の増加 ・事業費増加に伴う総費用の増加 ・諸係数・単価等の時点修正による効果額の変更			
	1.18				

3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
		計画・設計の最適化	近傍のボーリング資料を活用したことによる事業費の減

V 評価

1. 必要性	(1) 環境上の配慮及び課題	
		●本地区は、前歴事業としてほ場整備事業等により整備が行われているものの、泥炭土壌による不等沈下から暗渠排水の効果が低下しており、用排水施設においても改修を必要としているため、本事業の整備により地域農業の更なる活性化に向け、農地の流動化を促進させ規模拡大により、農家経営の安定を図るものである。 ●事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。

a

a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。
b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。
c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。

2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題		
		●本地区は新篠津村が作成した田園環境整備マスタープランにおいて環境配慮区域に位置付けられている。 ●下流河川の生態系への配慮のため、降雨時の施工中止など、濁水が発生しないよう施工を行っている。	
	(2) 事業推進に対する地域の動向・意向		
	●事業着手以降毎年、事業促進期成会を通じて早期完成に向けた要望が行われている。		
(3) その他の課題			
	●特になし		

3. 事業達成の見込み	(1) 環境上の配慮及び課題	
		●今後の事業実施に当たって特に大きな支障や課題はなく、予定年度での事業達成が見込まれる。

a

a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。
c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。

4. 対処方針	●事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和7年度の完成を目指して事業を継続する。					
	a	a: 継続	b: 終了	c: 休止	d: 中止	
	事業期間変更の有無	無	事業内容変更の有無	有	総事業費変更の有無	有

VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】 ・事前評価：該当なし ・再評価：該当なし
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

補足資料

VII 事業計画変更

事業経過							経 過 年 数	事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		総事業費 (a)	当該年度 事業費	累計事業 費(b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		H30 (2018)	H30 (2018)	/	/	H37 (2025)	5	990	/	/	/
変更①	1回目	/	/	R5 (2023)	R3 (2021)	R7 (2025)		1,385	119	1,186	86%
変更②											
変更③											
変更④											
変更⑤											
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											

変更理由・内容	<p>変更①：事業内容・総事業費の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用水路について、不等沈下が確認された箇所の整備を追加したことによる事業量・事業費の増 ・排水路について、詳細測量の結果、暗渠排水整備予定箇所の排水路が切深不足であったことから、整備を追加したことによる事業量・事業費の増 ・排水路について、工事用道路の地耐力不足に伴い、敷鉄板による仮設工を追加したことによる事業費の増 ・区画整理について、現地発生土が不良土であったため、畦畔盛土の一部を現地発生土から購入土に変更したことによる事業費の増 ・測量試験費について、近傍のボーリング資料を活用したことによる事業費の減 ・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による事業費の増
---------	---

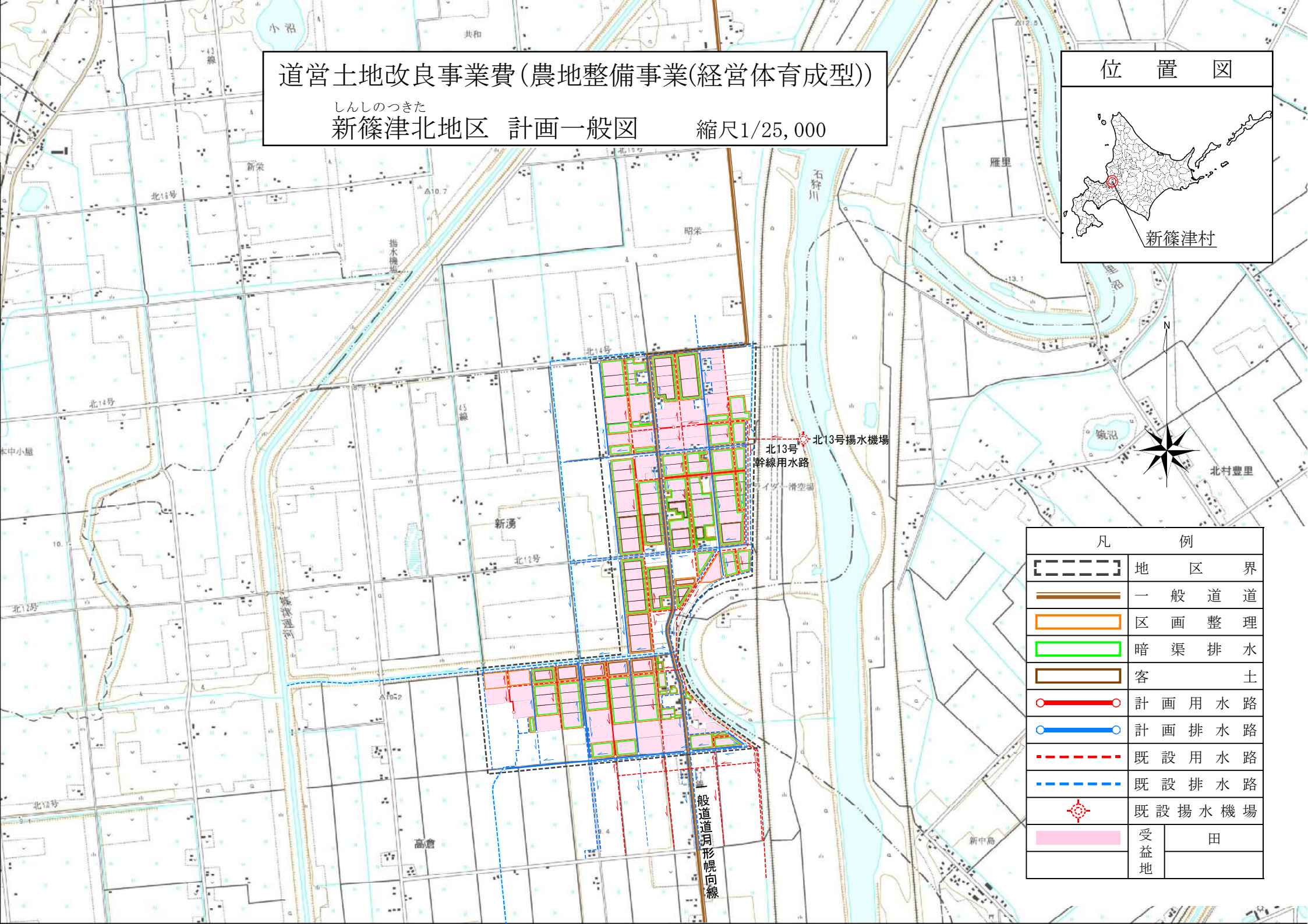
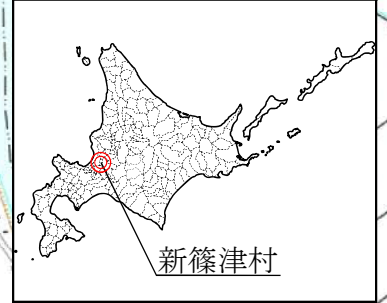
道営土地改良事業費(農地整備事業(経営体育成型))

しんしのつきた

新篠津北地区 計画一般図

縮尺1/25,000

位置図

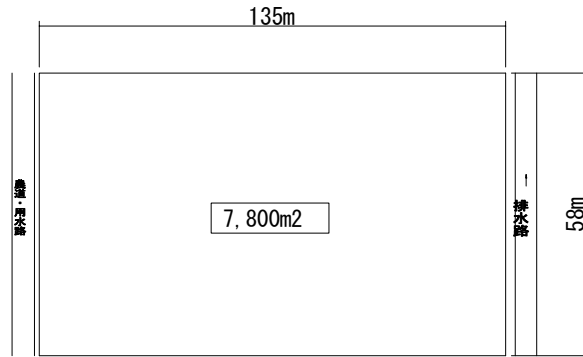


凡 例	
	地区界
	一般道
	区画整理
	暗渠排水
	客土
	計画用水路
	計画排水路
	既設用水路
	既設排水路
	既設揚水機場
	受益地
	田

標準構造図

区画整理工 標準図

標準区画

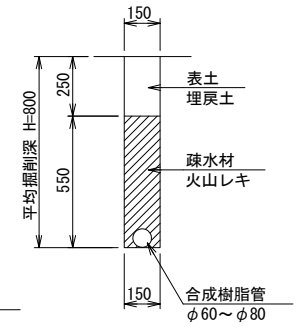


暗渠排水（田）標準図

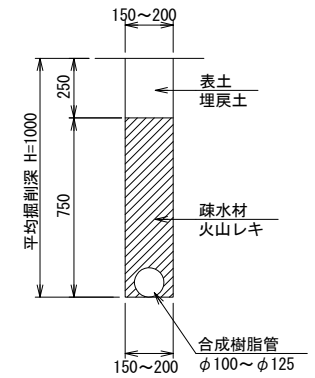
標準配線図



吸水渠



集水渠

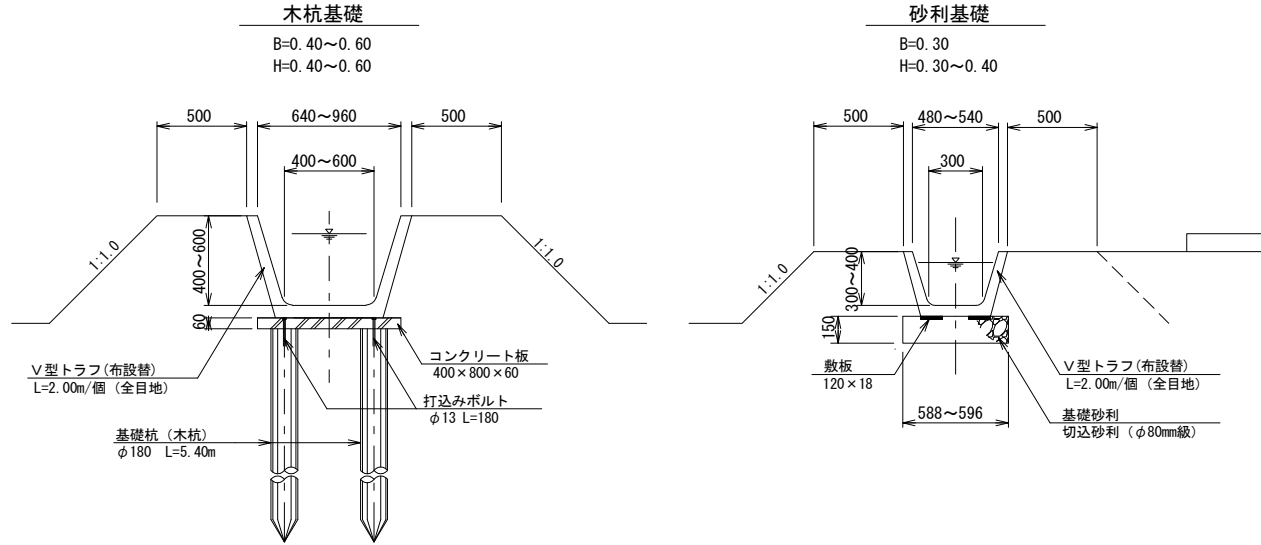


水位調整式水閘管
φ125mm

ネジ式水閘管

標準構造図

用水路 標準定規図



排水路 標準定規図

